

ISSEIKAI



社会福祉法人一誠会

Green Days 130th

法人設立46周年記念号

寄稿: 初宿 和夫 八王子市長
萩生田光一 衆議院議員

特集

8年ぶりのユニフォーム一新で
心機一転



ロコと楽しい仲間たち ロコの部屋 一誠会に新しい仲間が登場 ～セキセイインコのみーちゃん～

昨年12月、一誠会に新たな仲間としてセキセイインコの「みーちゃん」が加わりました。鮮やかな羽色と愛らしいさえずりで、ご利用者の皆様を和ませています。

みーちゃんとのふれあいは、会話のきっかけを生み、笑顔やリラックス効果にもつながります。これからも、皆様に癒しと楽しみを届ける存在として、大切に見守っていきます。



みーちゃんがそっと手にとまり、優しいふれあいがご利用者の笑顔を引き出します ロコちゃんが興味津々にみーちゃんを観察、新しい仲間との可愛らしい交流が始まります

Event イベントスケジュール (4月・5月の一誠会からのお知らせ)

◆行事の開催予定 ※各事業所から、別途、詳細をご案内いたします。

4月 花見会	看護小規模多機能型居宅介護事業所・第二偕楽園ホーム・グループホーム・偕楽園ホーム
4月12日(土)	一周年記念 八王子市高齢者在宅サービスセンター中野
5月1日(木)～6日(火)	菖蒲湯
5月3日(土)	つつじ祭り

◆地域交流会(万講座)の開催◆

日時	令和7年4月12日(土)	令和7年5月3日(土)
内容	知っておきたい「くすり」の話	腸内環境を整えましょう
講師	一般社団法人八王子薬剤師会	こうじや八王子
場所	偕楽園ホーム	偕楽園ホーム
時間	14時00分～15時30分	14時00分～15時30分

本会主催の行事や講座については、新型コロナウイルスの影響拡大に鑑み、開催を延期や中止させていただくことがあります。また、お申込みいただいた皆様には、延期後日程が決定次第、別途ご案内させていただきます。なお、感染症予防対策としてご来訪の皆様には検温などご協力いただくこともご了承ください。



一誠会WEB



Facebook



(旧)Twitter



Instagram



YouTube



アメーバブログ



採用情報



詳しくはこちら

職員紹介～注目の人～

ここでは、一誠会の職員を紹介していきます。今回は新入職の職員を紹介します。

第二偕楽園ホーム
地域福祉課
看護師

佐藤 真子

入職して一か月が過ぎました。

看多機という新しいシステムの下、新しい環境で働きながら、反省と学びの毎日を送っています。

一日も早く、ご利用者ひとりひとりのご希望に添った看護介護が提供できるよう、頑張ります。



偕楽園ホーム
訪問介護課
介護職員

松 寄 育 夫

令和7年1月20日より訪問介護課へ入職いたしました松寄育夫と申します。

これまで特別養護老人ホームなどで経験を積んでまいりました。その経験を活かし一誠会の職員として頑張りたいと思い精一杯努力してまいります。どうぞよろしく願いたします。



社会福祉法人一誠会

<https://www.kairakuenhome.or.jp>

ISO9001 認証取得



職員募集中!

現在一誠会では、職員募集を行っています。募集中の職種や、待遇などは下記のQRコードからご覧ください。

また、一誠会のウェブサイト、SNSは左記のQRコードからどうぞ。

社会福祉法人一誠会 法人設立46年を記念して

八王子市長 初宿(しやう)和夫



社会福祉法人一誠会が、昭和54年の設立から46年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

貴法人におかれましては、介護サービスを必要とする方や、その御家族に安心を提供されており、地域福祉の重要な拠点として心強く感じているとともに、八王子市の多岐に亘る福祉施策の実施に御協力、御尽力

いただいていることに深く感謝申し上げます。

令和7年(2025年)は、団塊の世代の全員が後期高齢期に入ります。高齢者を取り巻く環境は、人口減少による福祉・介護職などの担い手の不足のほか、単身世帯の増加、ライフスタイルの多様化などにより、課題が複雑化・複合化しています。

八王子市では、令和の年に策定した「八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画」に基づき、「誰もが安心と希望をもって歳を重ねられる未来につながるまち」の実現に向け、高齢者福祉施策の更なる充実に努めているところです。

貴法人には今後も一層の地域福祉の発展に御貢献いただけるものと大いに期待しております。

結びに、貴法人の益々の御発展と皆様方の御健勝、御活躍を心よりお祈り申しあげ、お祝いの言葉といたします。

社会福祉法人一誠会 46周年を祝して

衆議院議員 萩生田光一



この度は、社会福祉法人一誠会が創立46周年を迎えられました事を心よりお慶び申し上げます。

鈴木康之理事長をはじめ、全ての職員の皆様に改めて敬意と感謝を表します。

昭和55年に宮下町で偕楽園ホームの事業を開始されて以来、平成22年には初音の杜、平成30年には第二偕

楽園ホームを開設され平成を通して八王子市の地域介護に取り組まれてこられました。令和を迎えた今日、超高齢化社会に突入し、介護需要が高まる中において社会福祉法人一誠会におかれましては、「安心・安全・愛情」の理念の元、ご利用者様・ご家族様の心に向き合い、様々なニーズや想いに対応していらっしゃることに、心より敬意を表します。

鈴木理事長におかれましては八王子の地域医療、介護医療を牽引する立場で一層の躍進を祈念すると共に職員の皆様には社会福祉法人一誠会の歴史と信頼に裏打ちされた現場力を誇りに、引き続き市民の健康を守ってくださいますようお願い申し上げます。お祝いの言葉と致します。

令和七年三月吉日

衆議院議員 萩生田 光一

社会福祉法人一誠会 設立46周年を記念して

社会福祉法人一誠会

理事長 鈴木康之



社会福祉法人一誠会は、おかげさまで設立46周年を迎えました。これもひとえに、地域の皆様のご支援と、先人の努力の積み重ねによるものと、心より感謝申し上げます。

2025年の干支「乙巳(きのとみ)」は、再生や繁栄の象徴とされる縁起の良い年です。一方で、介護費用や医療費の増加、少子化による人

材不足、フレイルや認知症の増加など、多くの課題も山積しています。

こうした状況の中、一誠会は多職種連携を強化し、地域包括ケアを推進してまいります。昭和55年には八王子市で8番目の特別養護老人ホーム「偕楽園ホーム」を開設し、その後「初音の杜」「第二偕楽園ホーム」を設立。令和2年には「地域包括支援センター大和田」の運営を開始し、包括的な支援にも取り組んでいます。

また、令和4年には「五常会」(岐阜県中津川市)、「戸井福祉会」(北海道函館市)と連携し、「二五戸共栄会」を設立いたしました。

さらに、令和6年4月からは「八王子市高齢者在宅サービスセンター中野」の運営を開始しました。

今後も「安心・安全・愛情」の理念のもと、一人ひとりに寄り添う介護を提供し、地域の信頼に応える法人を目指してまいります。引き続き、よろしくようお願い申し上げます。

特集

8年ぶりのユニフォーム一新で心機一転

「新たな制服がもたらす変化と今後の展望、ご利用者への影響」

このたび、一誠会では8年ぶりにユニフォームを一新しました。職員の一体感を高め、快適な環境を整えるとともに、ご利用者の皆様に安心感を与えることを目指しています。

制服の変更に、より質の高いサービス提供に努めてまいります。



笑顔あふれる仲間とともに、ご利用者の皆様に寄り添い、温かく安心できる介護を届けます。新たなユニフォームとともに、心を込めたケアを大切にまいります。

制服がもたらす効果

ユニフォームには、職員の意識を引き締める効果があります。同じ服を着ることとでチームとしての連帯感が生まれ、施設全体の雰囲気が一掃されます。

また、機能性の高いデザインを採用することで、動きやすさや快適さが向上し、職員の負担軽減にもつながります。

新しい制服は、働きやすさとプロ意識を兼ね備えたものとなっています。

利用者にも与える印象と影響

制服は、ご利用者の皆様にとっても大きな意味を持ちます。統一感のある清潔なユニフォームは、安心感や信頼感を生み出し、施設の雰囲気を明るくします。

また、新しいデザインにより、職員がより親しみやすく感じられるようになり、ご利用者とのコミュニケーションが円滑になります。こうした細やかな配慮が、日々のケアの質向上にもつながります。

新たなユニフォームとともに

制服の変更は単なる衣替えではありません。新しいユニフォームを身にまとい、気持ちを新たに、より良いサービスの提供に努めていく決意を新たにしました。

これからも、ご利用者の皆様安心して快適に過ごせる環境を整え、心のこもった介護を実践してまいります。私たちの挑戦はこれからも続いていきます。



サービス付き高齢者向け住宅の職員がシックな制服でおもてなし。笑顔の会話が、安心とくつろぎの時間を生み出します。庶務係の制服も新しくなり、より機能的でお洒落に。支える力を大切に、快適な環境づくりに努めてまいります。

「初音の杜棟が「優マーク」を更新」～防火への決意新たに～

速報!

去る1月20日(月)、初音の杜棟(デイサービス・グループホーム)において、八王子消防署の予防課長より、一誠会を代表して水野常務理事へ「優良防火対象物認定通知書(優マーク)」が手渡されました。これは、防火上優良と認められた建物に与えられるもので、2年ごとに更新が必要です。

今回の更新を機に、今後ご利用者の命を守るため、防火対策を徹底し、安全・安心な環境づくりに努めてまいります。



優マークを手に、防火への決意を新たに、安全・安心な環境づくりを誓いました。

社会福祉連携推進法人 共栄会通信

『次世代管理職研修開催 経営分析と課題発表』

「グループ法人と共に学び、施設運営を強化」

去る1月10日(金)、オープンイノベーション・イールド多摩八王子館にて、社会福祉連携推進法人主催の「第2回次世代管理職研修」が開催されました。

一誠会をはじめ、グループ法人の五常会(岐阜県中津川市)と戸井福祉



多くの参加者が集い、それぞれの課題と向き合いながら、施設運営の未来について考えました。



参加者は真剣な表情で講義に耳を傾け、次世代の施設運営について学びを深めました。

連絡帳で深める信頼と絆

八 王市高齢者在宅サービスセンター中野では、ご利用者・ご家族・スタッフ間のコミュニケーションを円滑にするため、毎日「連絡帳」を作成しています。

この連絡帳は、ご利用者の体調や日々の様子を記録し、ご家族と共有する大切なツールです。食事の摂取状況、活動内容など、ご家族がご利用者の様子を把握しやすくなります。また、ご家族からのご意見やご要望を伺い、信頼関係を深める役割も果たしています。

日々のやり取りを通じて、ご利用者の生活の変化やお気持ちを細やかに把握し、より適切なサービスを提供できるよう努めています。

今後も、この連絡帳を活用しながら、ご利用者やご家族とのつながりを一層深め、安心して過ごしていただける環境づくりを目指してまいります。



さる1月11日、一誠会の餅つき大会に参加させていただきました。「今年は良いことがある」ととても喜ばれておりました



お菓子作りのご様子

Column 1

もちつき大会



初宿和夫八王子市長にもお餅をついていただきました

去 1月11日(土)に恒例のもちつき大会を開催しました。

来賓の皆様をはじめ、地域の方々やご利用者の皆様にもちつきを楽しんでいただき、ご利用者にとって地域との交流の機会となりました。

お餅のバック詰販売などにはボランティアさんのご協力をいただきました。

Column 2

地域福祉研修



社会連携推進法人一戸共栄会の社員である五井会と戸井福祉会の事業所の職員もリモートで参加しました

去 2月14日(土)、地域福祉研修を開催しました。

今回は、日野市立病院認知症看護特定看護師の小林多紀先生を講師にお招きし、「ユマニチュード」をテーマに講演いただきました。

市内の他事業所からも多くの参加があり共に学ぶ機会になりました。

トップリレー

地域と共に歩む
新たな挑戦

社会福祉法人一誠会
八王子市高齢者在宅支援センター中野
管理者

大川 富美

本年1月より、八王子市高齢者在宅支援センター中野の管理者に就任いたしました大川富美と申します。昭和59年から高齢者福祉施設において、介護職から相談員、施設長を経験し、このたびご縁があり、一誠会に入職いたしました。法人の理念は「安心・安全・愛情」です。地域包括システムの重要な役割を担う一誠会において、地域の皆様が住み慣れた環境で、いつまでも安心・安全に暮らし続けられるよう努力してまいります。また、ご利用

者やご家族の皆様の幸せ、そして職員が笑顔で元気に働ける最善の環境を整えるため、5S活動を中心に、お一人おひとりに愛情をもって向き合っていきたいと思っています。本年は昭和100年を迎えます。改めて、先人が築き上げてきた受け継ぐべき精神文化を大切に、次世代の教育や福祉の未来へとつなげるため、強い決意と信念をもって精励してまいります。皆様のご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

Green Days



社会福祉法人一誠会 広報誌
『グリーン・デイズ』2025.3 Vol.130

Contents

02 寄稿

社会福祉法人一誠会 法人設立46年を記念して
八王子市長 初宿 和夫

社会福祉法人一誠会 46周年を祝して
衆議院議員 萩生田 光一

社会福祉法人一誠会 設立46周年を記念して
社会福祉法人一誠会 理事長 鈴木 康之

04 特集/8年ぶりのユニフォーム新で心機一転

05 速報/共栄会通信

06 目次

トップリレー

社会福祉法人一誠会
八王子市高齢者在宅支援センター中野 管理者
大川 富美

07 from 八王子市高齢者在宅サービスセンター中野
Column ①・②

偕楽園ホーム

08 from 特別養護老人ホーム

09 from 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

初音の杜

10 rom デイサービス

11 from グループホーム

第二偕楽園ホーム

12 from 地域密着型特別養護老人ホーム
短期入所生活介護事業所

13 from サービス付き高齢者向け住宅

14 from 企業主導型保育所いろいろえん

15 from 八王子市高齢者あんしんセンター大和田
編集後記/ご寄付・ボランティアのご紹介16 ロコの部屋/職員紹介 ~注目の人~
イベントスケジュール
地域交流会/地域福祉研修のお知らせ

発行/社会福祉法人一誠会

〒192-0005 東京都八王子市宮下町983番地

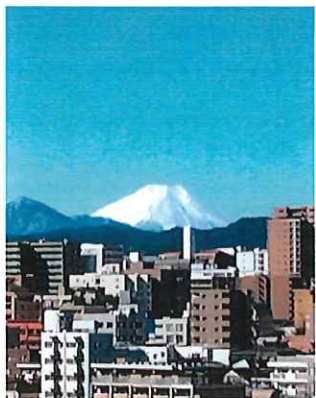
TEL: (偕楽園ホーム) 042-691-2830

(初音の杜) 042-691-8289

(第二偕楽園ホーム) 042-691-0913

(高齢者あんしん相談センター大和田) 042-649-3280

す。
を
一
心
利
る
の
よ、毎日
れいに見え
るの」とこ
利用者が関
心を示せば、
一緒に景色
を楽しめま



ご利用者のお宅から見える富士山。
二人で心が洗われました



日頃からのご利用者との会話は心身の変化
を早期に察知する手がかりにもなります

訪問介護では、何気ない
日常会話がご利用者との信
頼関係を深める大切な時間
になります。
日々の関わりの中で、ち
よつとした一言が心を通わ
せるきっかけになることも
少なくありません。
例えば、訪問時に「今日
の富士山、きれいですね」
と話しかけると、会話が自
然に広がります。「そうでし
よ、毎日き
れいに見え
るの」とこ
利用者が関
心を示せば、
一緒に景色
を楽しめま

「昔は家族と富士山を見
に行ったのよ」と思い出話
が始まれば、「どのあたりま
で行かれたんですか？」と
優しく尋ねることで、さら
に会話が弾みます。
また、「富士山のおまんじ
ゅうが好きだった」と話せ
ば、「今度、ご家族にお願
いして買ってきてもらうの
いいですね」と提案するこ
とで、楽しみにつながられ

ます。「私も富士山が見える
場所へ行ったことがあります
」と共感を示すことで、
より親しみやすい雰囲気
が生まれるでしょう。
このように、訪問介護で
は、景色や季節の話題を活
かしながら、ご利用者の心
に寄り添う会話を大切に
していきたいと考えていま
す。何気ないやりとりがご利
用者の気持ちを和ませ、安
心や喜びにつながるよう、
温かい交流を心がけます。

会話で深める信頼と絆

利用者の人生に寄り添い、
食事の楽しみを深めるケア
五感を刺激し、生活の質（QOL）を
向上させる食事の工夫



管理栄養士が中心となり、食事が一日の中で楽しみの一つになるように、季
節を感じることができる四季折々の食材を使った献立作りをしています



ナラティブアプローチにより利用者思いや、尊重し
職業に誇りを感じる職員を育成することにもつながります

偕楽園ホームでは、生活
を通じて健康を支えるだけ
なく、日々の食事が生活を豊
かにするよう取り組んでいま
す。

2種類の主菜から選べるセ
レクトメニューや、お好みの
おやつを楽しめるおやつバイ
キング、季節の味覚を堪能で
きる味覚御膳など、ご利用者
が主体的に食事を選び、楽し
める工夫をしています。食事
の時間が充実し、生きがいに

つながるよう支援しています。
また、ご利用者の思い出に
寄り添う「リクエストメニュー」
も提供しています。かつ
て家族のために作った料理や、
共に囲んだ食卓の記憶をもと
に、エピソードに関連するメ
ニューを献立に取り入れてい
ます。

これは、医療分野で重視さ
れる「ナラティブ・アプロ
ーチ」にも通じ、食事を通じて
家族の思い出に触れ、ケアを
深める取り組みです。懐かし
い味が五感を刺激し、会話が
生まれることで、より豊かな
時間を過ごせるよう支援して
いきます。

これからも、栄養や安全は
もちろん、食の楽しみを通じ
て生活の豊かさを支えていき
ます。

【偕楽園ホーム定期巡回・随時対応型訪問介護看護】利用者募集中！

1 か月あたり定額で利用できるサービスです。介護職や看護師など
による定期的な訪問と随時の訪問を組み合わせ、24時間在宅で生活
できることを支援するために必要なサービスを提供します。

◎訪問範囲：包括圏域の左入、石川、大和田、川口、中野まで伺います

◎対象となる方：要介護1以上

㊤ 社会福祉法人一誠会 偕楽園ホーム

〒192-0005 八王子市宮下町983番地

TEL 042-659-3366 FAX 042-691-8288 担当：安部、遠藤

ご利用料金（1 か月単位の定額制です）

定期巡回・訪問介護費（1 割負担の場合）

要介護度	介護保険費用	利用者負担
要介護1	62,952円	6,295円
要介護2	112,357円	11,236円
要介護3	186,558円	18,656円
要介護4	235,995円	23,600円
要介護5	285,411円	28,541円

※自己負担割合は、所得に応じて1～3割と異なります。

認知症による時間・季節感の低下を支えるケア

一誠会では、様々な認知症ケアの取り組みを行っています。ここでは、初音の杜のグループホームが行っている取り組みをご紹介します。



季節行事が大切な時間に。豆まきを楽しみながら節分を実感してもらっています



ご利用者が季節感覚を掴みやすくなるように、衣装や飾りつけにも工夫をこらします



催し後の会話のきっかけにもなるよう、ご利用者の印象に残るように係わりを行います

グループホーム初音の杜では、季節に合った行事を行い、季節感のある暮らしを支援しています。

季節感覚の喪失

認知症の症状の一つに見当識障害があり、時間や場所の把握が難しくなることがあります。

季節感を失うと、気温感覚の衰えと相まって、服装や暮らし方の調整ができなくなる場合があります。

例えば、冬に薄着で過ごしたり、夏に暖房をつけてしまったりと、健康維持に影響を及ぼすこともあります。

そこで、2月には節分の豆まきを行いました。

季節の行事で認知症ケア

豆まきによって季節感覚を刺激し、ご利用者が節分の時期や意味を思い出すことは、脳の活性化にもつながります。

また、季節の催しを楽しむ

ことで気持ちが明るくなり、笑顔が増えます。

笑顔にはストレスを軽減し、健康を保つ効果があるといわれています。

催し後には会話のきっかけとなり、談笑に華が咲くことや、昔ばなしにまで及ぶこともあり、コミュニケーション形成の効果も感じています。

季節感を少しでも感じられるよう、環境や催しを工夫しながら、これからも努めてまいります。

園芸活動の効果について



職員の思いが詰まった手作り畑。緑が育み癒しを届けます

園 芸活動の効果は多岐にわたります。土を掘る、花や野菜を植える、水やり、剪定などの運動を行うことで、体力の維持や向上につながります。

また、自然に触れ、日光を浴びることで、ストレスの軽減や不安感の低下、幸福感の向上など、精神的健康にも良い影響を与えます。さらに、植物の成長を見守ることで達成感が得られ、心の安定にもつながります。

園芸活動は認知症ケアにも有効とされ、感覚を刺激し、認知機能の維持にも役立つといわれています。

園芸活動は、認知症ケアにも有効な療法的活動といわれています



手塩にかけたみずみずしいレタスを収穫。育てる喜びと食べる楽しさを実感してもらえます



収穫により達成感や満足感が得られ、作物を食べる楽しさは笑顔にもつながります

デ イサービスセンター初音の杜では、認知症対応型通所介護のプログラムの一環として園芸活動を行っています。

花壇やプランターを使った野菜づくりに取り組んできました。令和6年度は、ガーデニングコーディネーターの資格を持つ職員を中心に、認知症対応型フロアから見える庭に4つの畑を作り、約10種類の野菜を育てています。

ポランテアと共に植え付けや水やり、収穫を行いました。収穫した野菜はその日にサラダバイキングで提供し、大根やサツマイモは調理して召し上がっていただきました。

作物を育てる喜びに加え、収穫した野菜を味わうことも笑顔につながります。

今後も、ご利用者が楽しめる園芸活動を続けます。

from

第二偕楽園ホーム サービス付き高齢者向け住宅

より入居者の意向を反映した サービス提供の実現を ～外泊支援～



外出補助の一コマ。「たまの外泊だから、いっぱい買いたくなっちゃって困る」とうれしい悲鳴も



仲の良い入居者との外食。「何を食べるより、誰と食べるか」ですね



好評を博している通院補助の一コマ。お部屋に戻られるまでお供いたします

選択サービスとは？

第二偕楽園ホーム サービス付き高齢者向け住宅（以下、サ高住）では、令和4年4月1日より、入居者の生活の質向上と個別ニーズへの迅速かつきめ細やかな対応を目的に、サ高住生活相談員による「選択サービス」（居室の清掃代行や通院、外出の補助など）を提供しております。

入居者の声を活かした 新たな取り組み

緊急時の通院補助など、一定の評価を頂戴している選択サービスですが、令和7年度は「より入居者の意向を反映したサービス提供」の実現を目指し、ヒアリングを基に「外泊支援」の導入を検討しております。

旅の楽しみを もう一度

「美術館に温泉…昔は色々な所に行ったのよ。でももう一人で行くのは不安だね…」これは入居者の生の

お声です。加齢による下肢や認知機能の低下を理由に、これまでの趣味であった旅行を諦め、家にこもりがちになる高齢者は少なくありません。

「外出したいけど、一人では難しい…」そんなお気持ちに寄り添い、安心して楽しめる旅の思い出作りをお手伝いできればと考えております。もしよろしければ、第二偕楽園ホームにお任せください。

from

第二偕楽園ホーム 地域密着型特別養護老人ホーム

不安に寄り添い 安心を届ける温かな介護



介護職員は女優です。気持ちを揺さぶりその気にさせるアクターです♪



お雛さまを飾ってもらいながら昔の記憶を掘り起こすのも介護の大事な役割です

第二偕楽園ホームは、地域密着型特別養護老人ホームです。ここでは、29名の職員が働いています。ショートステイが初めてで、不安を抱えるご利用者に、さりげなく声をかけ、いつの間にか笑顔を引き出す達人がいます。時には、「おうちに帰りたい」と訴え、荷物を持って玄関へ向かうご利用者もいます。そのようなとき、私たちはどう寄り添うべきかを考えます。

不安なときほど、扉を閉めます。その方のお気持ちを受け止め、「相手の目を見て、大丈夫だと頷く」。そのさりげない仕草から、「あなたを大事にしています」というメッセージを伝えることだと、私たちは考えています。

短期入所 生活介護事業所

医療行為等研修

ショートステイでは、さまざまな医療行為を必要とする方にもご利用いただいています。透析、ストマ、在宅酸素、痰の吸引、インスリン、胃ろう、パルUNKターテルなどは、看護師の指導のもと適切に対応しています。

第二偕楽園ホームでは、厚生労働省が定める高齢者権利擁護等推進事業の看護指導者養成研修を修了した看護師を配置し、職員指導を行いながら、サービスの質向上に努めています。医療的ケアに関するお困りごとがありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。



利用者の命を守るために、看護師が介護職員に感染防止の研修を個別に実地指導しています

【訪問看護ステーション】正看護師/理学・作業療法士募集中！

1日4件程度の余裕のある訪問で心を大切にしたりハピリをしませんか。当事業所には保育園もあり、小さなお子さんのいる職員も多数在籍。一緒にお仕事ができる仲間を募集しています。

☎ 社会福祉法人一誠会 第二偕楽園ホーム 訪問看護ステーション
〒192-0004 八王子市加住町1丁目18番地
TEL 042-691-1867 FAX 042-691-1870 担当：山口



「訪問歯科について」研修会を開催

去る1月21日、公益社団法人 東京都八南医師会所属 山内歯科医院の山内英史医師を講師にお招きし、地域包括支援センター大和田主催のケアマネジャー向け研修会「訪問歯科診療について」を開催しました。

今回はケアマネジャーだけではなく、日ごろから口腔ケアに携わる機会のある、デイサービスや訪問介護事業所も含めた22名の方々にご参加いただき、訪問歯科診療の依頼方法などの基本的なことから、事例を見て訪問診療の介入前と後の違いなどを学びました。

アンケートには今までは本人や家族からの相談に基づき、訪問歯科の紹介をしていたが、これからは率先して提案していきたい」とのご意見もあり、今後の実践に結びつく研修となりました。



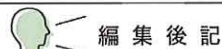
この研修会では「ケアマネジャーのサービスの質向上」を大きなテーマとしています



八王子市石川町にある山内歯科医院の山内医師

Green Days
グリーンデイズ Vol.130

発行:社会福祉法人一誠会
発行日:2025年3月15日
発行人:鈴木康之
編集人:鷹野賢一
住所:東京都八王子市宮下町983番地



編集後記

今号は、一誠会創設46周年記念号として発行いたしました。創設以来、地域福祉の発展に努めてまいりましたが、こうして今日を迎えられるのも、ご利用者やご家族、地域の皆様の支えがあってこそです。

今回、初宿八王子市長と、地元国会議員である秋生田光一衆議院議員にご寄稿いただき、大変光栄に思います。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

まもなく新年度を迎えますが、日本社会は依然として先行きが見えにくい状況にあります。それでも、一誠会は「安心」と「信頼」を大切に、ご利用者やご家族、地域の皆様が心安らぐ施設づくりを目指してまいります。

今後も変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願いたします。

社会福祉法人一誠会
常務理事 水野敬生

Xははじめました(旧Twitter)



御 礼

(12月1日～1月31日)

ボランティアの
ご紹介

天原寿子 雨宮千代野 荒木寺 関川加代子 伊藤幸子 稲垣輝彦
鶴沢世里子 遠藤由利子 及川和子 太田幸子 大塚幸子 岡部トシ
枝 小形和子 柏木伸子 金澤とみ子 川又奈緒美 阿部幸江 木村
キヨコ 功刀正寿 倉吉裕 小林加代子 小林節子 小宮節子 小柳
純子 坂口とし子 佐藤裕枝 佐藤幸子 佐藤節子 佐藤慶志 佐
藤洋子 澤田幸子 清水道子 七五三掛久美子 須藤 高木幸子 竹内豊
武長京子 武長幸雄 立川利子 田中和江 谷金静子 為全行雄 対中豊雄 塚
口真司 栗合真奈美 東海林幸子 東京純子 中井幸子 中村幸子 橋本正子
林隆太郎 平川節子 平野 勝 福士定明 福地菊恵 藤沢清子 本間いさ子
宮川京子 Eitaka Support Team 宮下町町会 村上正人 餅 朋子 茂木恵
美子 湯本つね代 渡辺欣也

敬称は省略させていただきます。

ご寄付の
ご紹介

アオイ薬局 伊藤美智子 株式会社アイテックプロ
代表取締役 新井一美 株式会社サンメディカルサ
ービス代表取締役 中澤義昭 鷹野広美 マルホ
ガス東京株式会社 代表取締役 滝島徳久 宮下町
会長 長田秀次

敬称は省略させていただきます。

こどもの心の成長は「経験」で育まれます



「赤ちゃん可愛いね」と優しいまなざしで見守る2歳児と笑顔で応える0歳児です



言葉はありませんが「ぼくが洗ってあげるね」と「ありがとう」の会話が聞こえてきそうです



週1回のふれあいの日。子ども達も利用者もとても楽しそうです

異年齢保育で
育まれる優しい心

小規模ならではの特徵として、異年齢での関わりが自然に生じる中で、子どもたちの心にはさまざまな変化が見られます。

友だちとの関わりの中でトラブルが起こることもありますが、保育者が仲介に入ること、相手の気持ちを理解しようとしたり、小さい子や泣いている子に優しく接したりと、大人が想像する以上にお互いを思い

やる心が育まれていきます。こうした経験を重ねること、子どもたちは成長していきます。

高齢者との
ふれあいを通して

現代では、祖父母と一緒に暮らす家庭が減少し、高齢者と関わる機会も少なくなっています。当保育園は、高齢者施設と併設されている特徴を活かし、温かく受け入れてもらえる喜びを感じながら交流することで、小さなうちから「優しさ」

や「相手の気持ちに気づく力」が育まれます。そして、相手に喜んでもらうことで、自己肯定感を養い、人と関わる楽しさを学ぶことにもつながります。

“心の土台づくり”を
大切に

さまざまな経験を通して「こういう時はどうしたらよいか」を考え、学ぶことが自分の知恵や勇気となり、その後の成長に大きな影響を与える“心の土台づくり”につながります。



園児募集中

0歳から2歳

介護・医療従事者の役割的な勤務体系にも対応し、土曜保育(要相談、1日4～5時間、週2～3日といった短時間の受け入れも可能。ご相談受け付けます。)

産休明け～満1歳未満 8:30～16:00
満1歳以上 7:30～18:30 ※保護者の勤務時間による

保育内容
アレルギー・障害児保育: 応相談
延長保育 18:30～20:30: 要相談 (別途料金がかかります)

お問い合わせ
社会福祉法人一誠会 企業主導型保育所かいらくえん
〒192-0004 八王子市加住町1丁目18番地
TEL 042-691-1868 メール: hoiku@kairakuenhome.or.jp